

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、和合圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和2年7月28日（火）9時30分から11時まで
参加者	委員：13人 事務局：1人 その他：22人（高齢者福祉課2人、介護保険課1人、中区長寿保険課1人、介護事業所7人、市議会議員1人、富塚協働センター1人、地域包括支援センター和合6人、市社協3人）
場所	和合せいれいの里 研修センター
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 協議体会長 *令和2・3年度会長として 委員承諾          高齢者福祉課医療・推進担当課長          市社協浜松地区センター長</p> <p>3. 自己紹介 新メンバー（11名）のみ紹介</p> <p>4. 協議内容</p> <p>①令和元年度年間報告について          生活支援コーディネート業務 和合圏域第2層年間報告書にて説明</p> <p>②令和2年度年間計画について          生活支援体制づくり協議体会議 実施予定表にて説明</p> <p>③新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛期間中の過ごし方と対応について          地区に分かれてグループワーク</p> <p><b>【住吉・和合地区】</b></p> <p><u>地区社協</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で当初は活動ができなかった。              →いつまでも活動を止めてられない。</li> <li>・あまりコロナを意識しすぎると“うつ病”に。</li> <li>・不特定多数の場には行かない。</li> <li>・人と接触しない事業を考える→ウォーキング（開会・閉会式なし）自由参加</li> <li>・高齢者が詐欺被害に遭う→地区社協として「詐欺についての研修」を開催。</li> </ul> <p><u>自治会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会ができず、配布物が配れない。→6月から開催</li> <li>・会場の確保ができない。</li> <li>・非接触型体温計、消毒用品購入するなど工夫しながら行っている。</li> <li>・今月、クラスターによる感染者が出たことで、役員会、秋の行事等見直し中。</li> </ul> <p><u>民生委員児童委員</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長の判断で会議を開催。但し、必要最小限。</li> <li>・友愛訪問ができない状況。→顔を見て話して安否確認ができない。</li> <li>・高齢者は人と話す機会が減ってストレスが溜まっている。</li> <li>・少し熱があるだけで心配だと電話がある。どうやって高齢者を勇気づけるか？</li> <li>・新任民生委員児童委員への教育ができていない。</li> </ul>

### シニアクラブ

- ・役員会は中止せず行っている。
- ・コロナとどうしたら共存できるか検討中。
- ・できることをやりながら、できるだけ活動していく。

### 健康広場和合

- ・高齢者に感染させてはいけない。
- ・通所の利用者を守る。  
→家族に施設の取組を伝え安心してもらった。(約7%休む)
- ・予防対策を行いながらの運営は、通常以上の労力を使用。
- ・地域の方の利用は中止。→個人防衛ができれば施設開放もできるかも・・・。

### **【富塚地区】**

#### 地区社協

##### [家事支援]

どうしても困る世帯は手袋着用等で継続。

→簡単な家事は世帯で頑張ってもらおう。

4～6月休み。7月、通常どおりの活動を再開したが、8月～休み。

\*7月末浜松でクラスター発生、感染者増。

外作業は継続。通院支援もあるが、今後どうするか？

##### [サロン]

新しい生活様式の入入れ。

地域の集まりは中止が多く、出てくる人も少ない。

→閉じこもりが心配。安全を考えながら前へ踏み出す。

#### 自治会

- ・会合は中止でも連絡事項はある。
- ・アルバイトの学生や業種によって生活が大変？→自治会費の軽減も検討。

#### 民生委員児童委員

- ・訪問はなし。電話等で対応。⇔出ない、つながらないこともある。

#### 施設など

- ・環境整備、体調管理等感染対策しても5%休む人がいた。今は復帰している。
- ・運動能力の低下が心配。
- ・通所への問い合わせが多い。→家族、本人の体調などをチェックしていた。
- ・既存利用者が多い。体調管理を念入りに行う。
- ・宣言中は休む人もいたが、徐々に戻っている。  
→今回のクラスター感染で、また休みの申し出がある。
- ・新規や体験も少しずつ増えている。
- ・マスクをしたくない利用者もいる。→慣れてない人、怒り出す人もいる。
- ・手洗い、消毒、検温の徹底。
- ・施設ごとの感染マニュアルを地域でも共有。

→相談やアドバイスを貰える関係へ。

#### 地域包括支援センター

- ・6月から介護教室やロコモを再開＝人数制限をして
- ・コロナの注意点をサロンやシニアクラブで伝えている。
- ・介護保険の申請増。→サービスで対応。
- ・子が遠方で親の施設入所希望も増。

#### 浜松市（行政）

- ・4月と5月は協働センター閉館。  
→6月から開催。収容人数の50%減の参加者を受入。
- ・今は社会活動を中止する状態ではないので、対策をしながら活動する。  
→今後の状況により変化する（大きなイベントは中止）
- ・浜松市役所ホームページ＝コロナウイルス感染関連情報

#### 全体を通して

- ・これからは、移動支援＋感染対策を考える必要性がある。
- ・小規模でも出向く仕組み、体制づくり
- ・従来行事の見直し  
→今までどおりやっていたら？→制限を設けてでも実施するか？
- ・気をつけながら、やる方法を模索する。
- ・コロナウイルス感染がある中、どう生活していくかが難しい。
- ・それぞれが感染防止対策を行い、コロナありきの生活を送るしかない。
- ・生活を変えていくことを理解してもらう必要がある。  
→全員に理解してもらうことは難しい。地道にやるしかない。
- ・バス路線が少なく買い物など不便。コロナの影響で地域活動はどうか？

#### ④その他

浜松市でクラスターによる感染者が増え市民の不安感がますます募る。

高齢者のフレイル対策を強化。

協議体会議の内容について所属ごとで共有・啓発してもらう。

#### 5. 次回開催日程

令和2年9月28日（月）9時30分～11時 和合せいれいの里 研修センター

#### 6. 閉会 協議体副会長

今後の見通し等

新型コロナウイルスについて正しく理解する。  
コロナ禍でどのような活動ができるのか、協議体委員として各所属でできることを考えてきてもらう。